

【事例9】工賃向上に向けた取組

施設名	サポートセンターころろ（つくば市玉取）		
設置者	（株）心		
定員	20名		
利用者数	29名		
平均月額工賃の推移	R2：37,130円	R3：47,380円	R4：47,894円
主な作業内容	施設外就労（不動産管理、除草、清掃）、農作物の栽培・販売、内職		

工賃向上に向けたアドバイス

- **職員が営業努力をすれば、必ず工賃は上がる。**
 - ・ 地元での施設の認知度を高めるため、名刺配りなど足で稼ぐことが大事。
 - ・ 「福祉の概念」にとらわれないこと。やり方はいろいろある。
- **現在の工賃水準は施設外就労を中心に取り組んでいる結果。**
 - ・ 施設外就労と内職では、同額の収益をあげるためにかかる時間や手間が全く違う。
- **「障害者施設＝低額で仕事をする施設」から脱却したい。**
 - ・ 仕事が無くなるリスクはあるが、決して安売りしない。

その他

（施設外就労）

- ・ 利用者が社会に溶け込むためにも施設外就労は必要（一般就労につながりやすい）

（内職）

- ・ 施設外就労が出来ない利用者向けに内職も行っているが、発注元と交渉してできるだけ高単価で作業を行う。

（その他）

- ・ まずは職員が「意識を変える・取り組む」ことが大事（職員が変わることで、はじめて利用者の意識が変わる）
- ・ 真面目に働いている利用者へ、より多くの工賃を出したい。
- ・ 利用者が工賃でお土産を買ってきてくれた時は、涙が出るほどうれしかった。

施設外観



栽培・販売している農作物



作業の様子（施設外作業など）

